

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	同志社大学
申 請 区 分	タイプA
<p>〔評価コメント〕</p> <p>本構想は、「留学型」と「国内型」の2つの教育プログラムを設定し、最終年度（平成28年度）には「留学型」1,800名、「国内型」1,200名のグローバル人材の育成を目指す意欲的な取り組みである。これまでの実績に加えて、各学部の参画のもとに多様な留学プログラムを拡充し、本構想の目標達成に向けて全学的な体制で実施する計画が立てられており、高く評価できる。</p> <p>また、卒業時の外国語カスタンダードも高く設定され（TOEFL iBT 79相当）、英語力強化に関しては具体的な施策が練られている。</p> <p>しかしながら、TOEFL 対策に主たる重点が置かれており、国際教養科目群の関連科目等の履修も要件とされてはいるものの、成績基準や留学の成果測定基準は必ずしも明確ではないように思われる。学士課程のカリキュラムの面では、各学部ともに相当数の学生が多様な期間に多様な留学プログラムに参加することから、学部の専門教育と本構想のプログラムとの関係についても、更なる検討が望まれる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にする国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	